

産業廃棄物処理計画書

令和5年 4月 10日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市東区青葉1丁目19-21

氏 名 三浦造園土木建設(株) 代表取締役 三浦 義孝
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

092-691-1439

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三浦造園土木建設株式会社
事業場の所在地	福岡市内事業場
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	4億3534万円
③従業員数	20人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場→収集運搬→中間処理→再生資源 ↓ 埋立処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者→安全環境担当→作業所長→現場監督員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排 出 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排 出 量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の排出量が抑制できる工法を行う			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設資材の分別をしている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物を排出しないよう、分別の更なる努力

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組) 「がれき類」について、排出全量を、「優良認定処理業者」へ委託する努力をする。</p>			
※事務処理欄			

別紙（第2面～第5面）産業廃棄物処理計画書

単位：トシ（t）

①現状【前年度(令和3年度)実績】		②計画【目標】		排出量合計	
木くず	汚泥	がれき類	アスファルトがら	陶磁器クリップ及コバン	金属くず
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状 排出量	170.12	2.2	811	292	2.94
②計画 排出量	160	2	250	200	2
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
②計画 自ら再生利用を行なう産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
①現状 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
②計画 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
①現状 自ら熱回収を行なう産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
②計画 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った	0	0	0	0	0
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状 全処理委託量	170.12	2.2	811	292	2.94
②計画 全処理委託量	160	2	250	200	2
①現状 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	465	292	2.94
②計画 優良認定処理業者への処理委託量	160	2	346	0	0
①現状 再生利用業者への処理委託量	170.12	2.2	346	0	0
②計画 再生利用業者への処理委託量	160	2	0	0	0
①現状 認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0
②計画 認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0
①現状 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0
②計画 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0